

第1回 経営協議会記録

- I 日時 平成22年6月4日(金) 13時30分～15時30分
- II 場所 事務局5階特別会議室
- III 出席者 高田学長(議長)
石堂, 曾我, 高橋, 林
平塚, 和泉, 中島, 石川, 竹内の各委員
- 陪席者 山田(哲), 山田(謙)の各監事
- 欠席者 郷, 茂原, 福水, 四方の各委員

議事に先立ち、経営協議会の成立要件が満たされていることが確認された後、学長から、新監事の紹介及び前回の議事概要の確認が行われた。

IV 議事概要

1 審議事項

(1) 平成21事業年度及び中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書等について

平成21事業年度及び中期目標期間に係る業務実績報告書等について、資料により説明がなされ、原案どおり承認された。

(2) 平成21事業年度決算(案)について

平成21事業年度決算(案)について説明がなされ、原案どおり承認された。

なお、審議の際、次のような意見交換が行われた。(○は学外委員、△は本学の発言。以下同じ。)

- 学生納付金収益と財務収益が減収となっている理由は何か。
- △ 学生納付金の減については、学生納付金を財源とした教育用設備等の整備に伴うものであり、また、財務収益の減については、第1期中期計画期間が終了することに伴い、年度末で運用を締めたためである。
- 一般管理費が増加している理由は何か。
- △ 平成21年度に固有な状況として、認証評価の受審に伴う諸経費のほか、ホームページの更新や移転費等の費用が発生したためである。

(3) 平成23年度概算要求(案)について

平成23年度概算要求(案)について、資料により説明がなされ、原案どおり承認された。

なお、各事項の要求順位付けや基盤的設備等の要求内容については、学長に一任された。

なお、審議の際、次のような意見交換が行われた。

- 耐震改修工事の実施状況はいかがか。
- △ 対象建物の8～9割の改修工事を完了している。
- 教育学部と附属学校の連携を図る事業の進捗状況はどうなっているのか。
- △ 「問題を抱えた子どもたちへの総合サポートセンター」や教育実習支援センターに、平成22年度以降年次計画でコーディネーター等を配置し、地域の教育問題への対応のほか、教育実習の一層の充実を図ることとしている。

(4) 育児休業及び介護休業等に関する規則等の一部改正について

本学教職員の育児休業及び介護休業等に関する規則等の一部改正について、資料により説明がなされ、原案どおり承認された。

2 報告事項

(1) 平成22年度群馬大学入学者選抜実施状況及び平成21年度卒業者の進路状況について

平成22年度入学者選抜の実施状況及び平成21年度卒業者の進路状況について、資料により報告があった。

(2) 平成22年度科学研究費補助金の内定状況について

平成22年度科学研究費補助金の交付内定状況について、資料により報告があった。

(3) 平成22事業年度会計監査人について

平成22事業年度会計監査人として、新日本有限責任監査法人が、文部科学大臣により選任された旨報告があった。

(4) 平成21年度実施大学機関別認証評価結果について

平成21年度に実施された大学評価・学位授与機構の機関別認証評価について、本学が基準を満たし、認定された旨報告があった。

(5) その他

① 重粒子線治療「先進医療」の開始について

本学と群馬県で共同設置した重粒子線照射施設において、6月1日から先進医療として治療を開始した旨報告があった。

なお、本件に関連して次のような意見があった。

- 重粒子関係の収支については、附属病院の収支とは区分して整理すべきである。
- 重粒子線治療については、これまで、がん治療がバラ色であるかのごとく喧伝されているが、この辺でじっくり腰を据えて取り組むべきである。
- 重粒子線照射施設の運営については、各部局の予算措置とは別に余裕のあるキャッシュがあるなら、それを活用するという方策を考えるべきである。

② 学長選考会議関連の報告について

平成22年4月1日付けで学長選考規程等を改正する旨のお知らせがあった旨の報告があった。

③ 低炭素社会構築に向けた研究基盤ネットワーク整備事業の採択について

本学が文部科学省の低炭素社会構築に向けた研究基盤ネットワーク整備事業のサテライト拠点として採択された旨報告があった。

④ 平成22年科学技術振興調整費事業の採択について

本学の「若手先端科学研究者の研究環境改革」プログラムが平成22年科学技術振興調整費事業として採択された旨報告があった。

以上